

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	建築設計特論A (Theory of the architectural design A)		
ナンバリングコード	R20209	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 前期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M002201	クラス名	-
担当教員名	西村 謙司		
履修上の注意、履修条件	建築設計に関する基礎的知識と技術を有すること。 建築設計に際して求められる言論や思潮のあり方を学びます。テキストに即した柔軟な読解力と解釈力が求められます。また、テキストの解釈を発表する機会を設けます。		
教科書	受講時に指定したテキストを配布する。		
参考文献及び指定図書	『建築論』(森田慶一、東海大学出版)、 『建築制作論の研究』(建築論研究会編、中央公論美術出版)		
関連科目	設計製図1～5、住居論、日本建築史、建築計画、西洋建築史		

○基本情報	
授業の目的	建築学の中でも特に建築歴史・意匠分野という専門領域に焦点を絞り、高度な知識と技術に関する学修を行うとともに、建築設計に求められる言論を構築する文章力の基礎となる読解力、解釈力を修得します。
授業の概要	古今東西の建築設計に関する言論の中から重要なテキストを選定し、その解釈を行うとともに、解釈内容の吟味を行います。授業の中で、解釈のあり方について議論を行うなど、アクティブな授業として、テキスト解釈を行います。歴史的な存在として認められた建築家にその制作のあり方を学ぶとともに、制作を基礎づけている存在のあり様の解釈を試みます。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「グループワーク」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	建築設計を行うにあたって、自らの問題意識を設定できること。 テキスト解釈にあたって、自らの意見をコメントできること。			30点
【知識・理解】	建築設計に求められるコンセプトを解釈することができる。			30点
【技能・表現・コミュニケーション】	建築設計に際して独創的なコンセプトを構築できる。 また、他人のコンセプトを尊重できる。		20点	
【思考・判断・創造】	歴史的文化的に構築された建築設計コンセプトを解釈し、構築できる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
<p><成績評価のポイント> 1. 授業への取組姿勢 2. 授業の予習・復習の内容</p> <p><成績評価のための提出物> 1. 毎回の授業の予習・復習の成果をコピーし、整理し、表紙をつけ、一部に綴じてまとめ、16回目の授業までに提出。</p> <p>[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を特別優れて満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を優れて満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を良く満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。</p>	

○その他	
フィードバックは、適宜行います。	

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	建築設計特論A (Theory of the architectural design A) 西村 謙司	授業コード	M002201
学修内容				
1. 授業の概要 授業で用いるテキストの概要説明。および、授業全体の枠組みと方針等、オリエンテーションとなる説明を行います。授業中に講義で使用するテキストを配布します。(以下、『建築設計特論A 講義テキスト』とする。)				
予習	建築設計論に関する既往研究の調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
2. 建築設計の主題 その1 建築設計の主題の設定に関して説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
3. 建築設計の主題 その2 建築設計の主題の設定に関して説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
4. 建築設計の動機 その1 建築設計の動機に関して説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
5. 建築設計の動機 その2 建築設計の動機に関して説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
6. 建築設計の目的 その1 建築設計の目的に関して説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
7. 建築設計の目的 その2 建築設計の目的に関して説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
8. 建築設計の意義 その1 建築設計の意義に関して説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	建築設計特論A (Theory of the architectural design A) 西村 謙司	授業コード	M002201
学修内容				
9. 建築設計の意義 その2 建築設計の意義に関して説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
10. 建築設計の方法 その1 建築設計の方法に関して説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
11. 建築設計の方法 その2 建築設計の方法に関して説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
12. 建築設計の材料 建築設計の材料に関して説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
13. 建築設計の視点 建築設計の視点に関して説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
14. 建築設計の立場 建築設計の立場に関して説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
15. 建築設計のあり方 建築設計のあり方に関する説明。『建築設計特論A 講義テキスト』の読解。				
予習	『建築設計特論A 講義テキスト』の該当部分を読み、関連資料に関する調査。			約2時間
復習	授業中で解読した『建築設計特論A 講義テキスト』の内容に即して、自らの見解をまとめる。			約2時間
16. 課題提出 授業の予習・復習の成果をまとめたもののコピー(表紙付・表紙に主題と各自の学籍番号・名前を記載)を提出。				
予習				
復習				